

## チロリ通信！VOL.7 (2009.12)

発行元：NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ  
〒410-0036 沼津市平町24-4-902  
電話&FAX 055-962-3190

<http://npo-stds.com/>



### 【活動レポート】

#### 1. 静岡県成犬譲渡スタート記念 大木トオル代表講演会！

これまで保健所に飼い主の都合で引取られたり、捨て犬として保護された成犬は殺処分されてきました（全国で約10万頭）。こんな状況を変えようと静岡県も成犬の命を救えるように、譲渡への適正検査を行い、新たな里親さんに譲渡する事業が今年度より始まっています。

このことを広く周知、ご理解頂けるように、保健所に保護された殺処分前の犬たちを救いセラピードッグに育成、福祉施設で活動中の国際セラピードッグ協会 大木トオル代表を8月9日（日）沼津市に招聘し、講演会とセラピードッグたちとの触れ合い会を開催しました。

当日、講演会には120名以上の方にお集まり頂き、2時間半に渡り、捨て犬、殺処分の状況、セラピードッグの活躍などを映像を使って熱弁頂くとともに、セラピードッグたちによるデモンストラレーションも行いました。

また、午後に行われたNPO法人マムとの共催イベント「障がいを持つ子供達とのふれあい会」では、今まで手が不自由で動きにくかった男の子の手が、なんと自らの意志でセラピードッグを撫でることが出来、いつも支援しているスタッフは感動して涙！やはり、沼津でも成犬譲渡を成功させ、セラピードッグを育成、必要としているこの地域の人たちのために活動できるようにしたいとスタッフ一同感じました。



#### 【参加スタッフの感想：中学2年 川村 詩織】

私はこの講演会で初めてセラピードッグに会いました。歩く人のスピードに合わせて一緒に歩き、アイコンタクトもしっかり取れていたのがとても感激しました。大木先生の話聞いて、アメリカと日本では、歴史や文化の違いがセラピードッグの育成や認知度の違いに繋がっている事を知りました。アメリカは、犬が人生のパートナーであり法律的にも命を尊重されている。一方日本では、パートナーでなくペットとして売られている。法律も不十分な為に飼い主が飼えなくなったら捨てられ、最終的に殺処分される。そんな殺されてしまう命が無くなり、幸せな生活を送る中でセラピードッグとして活躍し、人も犬も笑顔になれたらいいなと私は思いました。



【NPO 法人ママとの共催：障がいを持つ子供達とのふれあい会】

## 2. 動物愛護フェスティバル静岡 2009 参加！

【重本るりえ】

9月20日(日)南熱海マリンホール・小山臨海公園で動物愛護フェスティバルが行われ、当クラブもパネル展示で参加しました。「生きものも 人もおなじ 地球の仲間」をスローガンに、楽しみながら動物愛護と適正飼育に関心と理解を深めよう、というイベントです。

当日は良いお天気にも恵まれ、会場はペット同伴可だったのでたくさんのワンちゃん連れて賑わいました。南熱海マリンホール2階では、動物愛護ドキュメンタリー映画「犬と猫と人間と」が上映され、反響を呼んでいました。当クラブのブースでは、展示物を見て足を止め、セラピー犬や里親探しに興味を持ってくれた人がたくさんいてイベントに参加することの意義を改めて感じました。目指せ！ 捨て犬ゼロ、殺処分ゼロの町！



## 3. 動物ボランティア意見交換会出席に出席しました！

【水本奈美・二藤清美】

10月6日、東部保健所によるボランティア意見交換会に参加しました。犬・猫のボランティア団体、一般の興味をもたれている方約20名が集まり、成犬譲渡や犬猫の引き取りの有料化等の説明後、活発な意見交換会が行われました。その中で特に印象的だったのは、飼い主のいない猫の面倒をみられている方の抱えている悩みの深さでした。近隣住民とのトラブルや嫌がらせなどで八方塞がりになり精神的に追い込まれるケースや、資金的な悩みなど、様々でした。団体に属している方もそうでしょうが、個人で活動されている方の悩みの多さが目立ちましたが、今回の会に参加し意見交換したことにより、解決の糸口が見え、一歩前進したとのこと。比較的、猫の話題が中心となりましたが、動物愛護全体への取り組みとして、今回のような意見交換を密にして市民と行政が連携して行動していきたいと思います！



#### 4. 「幸せになったわんこ達」～秋田犬「しろ」カナダへの旅路！

##### 【経緯】（10/8会長ブログより）

三島の秋田犬をブリーディングしていた高齢の男性飼い主が飼養の継続が困難となってきたため、保健所経由、当クラブに3頭の里親探しの依頼があって2ヶ月が経過しようとしています。この間、クラブHPを見て、兵庫の男性が1頭を引き取って頂き、更に1頭はカナダ在住の女性の方からどうしても命を助けたいと連絡を頂き、様々な調整、準備を経て、今月下旬に来日して連れて帰って頂くこととなりました。検疫など通関できるかが最大のポイントですが、保健所が調査の結果、カナダの方が狂犬病が根絶されていないため、狂犬病のない日本からの入国は可能だそうです。（逆に狂犬病のある国から日本への入国は大変厳しい）三島から成田までの配送の手配も当方で済ませましたが、なにせ動物、生き物ですし、飛行機に乗せるとなると最後まで気が抜けません。なんとか、無事旅路につけるように、細心の注意で臨みます！



無事カナダへ到着！（ケージの中）

##### カナダ在住・木下さんからのメール抜粋

～「昨年12年10ヶ月連れ添った秋田犬を亡くし、もう犬はあの一匹のみと誓いを立てたのですが、毎日の暮らしに張り合いがなく、訳もなくぼんやりとした生活を送っていましたが、それが、いると結構手間暇のかかる犬の存在だということに気づき、こちらでブリーダーを探したのですが、なかなか見つからず、アメリカですと居るのですが、詐欺事件も結構あるので、それならば日本からと探しているうちにそちら様の里親のサイトを見つけ連絡させて頂いた次第です。もし縁があって我が家に連れて来れたら、最後まで責任を持って連れ添う事を誓います。…」



カナダ・木下さん宅にて

##### 【無事カナダに到着！】（10/27会長ブログより）

新たな飼い主を捜して頂いていた秋田犬「しろ」が無事三島市からカナダのバンクーバーへ到着、第2の犬生を歩むことになりました！22日に三島を出発後30分くらい経ってから「しろ」が涙を流して泣き出し、その後、赤帽の運転手さんが話しかけ、なだめながら成田まで送ったとの報告を直後に頂き、長いフライトが大丈夫かと心配していましたが…当初は不可能と思われていた本件ですが、多くの皆様のご尽力により成功裡に終わりましたことに深謝申し上げます。



##### セラピードッグサポートクラブの皆様へ

皆様こんにちは、昨日無事に何の問題もなく日本の検疫所、カナダの検疫所、を通りぬける事ができ、我が家の一員として「しろちゃん」は第二の犬生をスタートする事ができました。私にはなついたと言うのか、すがり付いているような感じで、終始後について回っていますが、ほかの家族メンバーにはウ～～とか威嚇していますが、まだようやく24時間を過ごしたばかりなので様子を見ようと思います。

ブリーダーさんのところにいたので、基本的なしつけはゼロですが、散歩の際や遊びながら、少しずつスタートしました。一週間ぐらいは、新しい環境になれるまでお客様扱いが多少入りますが、徐々に厳しく一年をめどに最低のしつけを身につけさせようと考えております。基本的におだやかなやさしい、頭のいい子です。

加藤様はじめスタッフの皆様そして赤帽のS様本当にありがとうございました。皆様のおかげで新しい家族を迎えられ、ちょうど難しい年頃の息子達と和気あいあいと試行錯誤しながら、後何年一緒にくらせるのかな？と考えながら大切な時間をすごさせていただいています。何をしてもそうですが、山あり谷ありだと思われ、健康に留意されご活躍くださいますように。心より感謝申しあげます。ありがとうございました。（木下 富久）



毎日5kmの散歩！

この他にも、捨て犬たちのための多くの新たな飼い主さん探しを行いました。皆様のご協力に感謝致します！

## 新メンバー紹介 → 管根いづみさんをご紹介します！

### ～管根さんからの自己紹介～

先日クラブに入会させて頂いた管根と申します☆この5～6年、HELP状態の子たちが次々と現れ、次第にミニ動物園と化した我が家に限界を感じ始めた頃、メンバーの二藤さんとの運命的な出逢いを授かりました。神様のご配慮に、ただ感謝の一言です★今後は、非力ながら一匹でも多くの命が幸せになる事を願いつつ、出来る限りのお手伝いをさせて頂ければと思いますので、どうぞ宜しくお願いします！

**Q、(会長からの質問)何頭飼っているのですか??**

→一時、最大16匹保護していた事がありますが現在は犬が2匹・猫が8匹です★

**Q、苦労している点は??**

→多々ありますが⇒犬のクウ(5歳♂)は、てんかんの持病とアトピーがあるので、投薬とサプリが欠かせません(T\_T)また、発作の頻度も多く、その度に失禁したり体を傷付けたりするので、発作時期はほとんど介護状態となり、睡眠時間があまり取れないのが悩みです

もう一匹の犬のはっちゃん(♀)も、昨年保護した時点で既に老齢期に入っていたので、足腰も弱く、一人で排泄するのが難しい子なので、頻繁にトイレに連れて行かないと、熟睡しながら下痢をしてしまうのが難点でしょうか…(-\_-)

あと、猫たちは基本的にあまり手がかからないのですが、今年保護したチョコビ(推定5～6歳♀)は野良が長かったスケ番なので、機嫌が悪いと、すぐ他の子達にケンカを売って乱闘騒ぎを起こします…早く更正して欲しいです…

もう一匹、今1番かかりきりなのが、クラブを通して引き取らせて頂いた子猫のエリー(生後約半年♀)です☆ご存知のように、生まれてすぐ切断した足先の傷が未だ完治してない状態なので、毎日の消毒とガーゼ交換が欠かせませんが、でもそれが気に入らないお姫様は、毎日その時間になると戦闘体勢に入る為、彼女の回復に反比例して私の傷は確実に増えております(\*\_\* )★



## メンバー雑感：萩澤副会長

長年勤めた会社を定年退職し、年金生活に甘んじ早や五年が過ぎようとしている。その間、いくつかのNPO(ボランティア団体)、町内会などの活動を通して、「やってやろう」から「やらせてもらう」、言い換えれば、「自らの行動は須く自らに還ってくる」ということがおぼろげながら理解できるようになった。そしてこれからも「やる気の行動には無駄はない」という理念のもと、心新たに精進していきたいと思っている。さて、翻って世間をみると、政治、経済など世情の不安要素には枚挙に遑がない。このような環境下で、私たちのこれからの生活は如何にあるべきかを様々な情報などを整理し、自分なりに結論付けたことは「自分の命は自分で守る」しかないということである。これからの老後の生活を考える時、自分の国を信頼できない、または自分の国に誇りを持たない、このような自己判断が杞憂に帰すことを切に念ずるものである。

**最後に…捨て犬殺処分ゼロに向け新しい飼い主(里親)探しにご協力下さい！**

### ①「里親探し」を手伝って頂ける方

→「犬」の情報を流しますので友人、知人への声かけをお願いします。

### ②「里親探し」中に一時預かりをして頂ける方

→ 里親探し期間(2週間～1ヶ月)犬を預かって頂ける方が必要です。

### ③「里親」になって頂ける可能性のある方

→「犬」の情報を流しますので飼えると思われる犬の里親(飼養)になって下さい。

☆ご連絡をお待ちしております☆

NPO しずおかセラピードッグサポートクラブ事務局行 電話・FAX：055-962-3190